

「ならなぎ よりみちクラブ」活動報告

報告者： 堀内けい子

日時	2023年4月13日(木) 10時00分 ~15 時00 分	天候	晴れ	コース名: 第38回よりみちクラブ
案内団体 又は催事名	「春の馬見丘陵公園と古墳巡り」		人数	大人:21名

集合:近鉄田原本線・池部駅 10時

ガイド:廣瀬様(ならなぎ会員)

行程:近鉄池部駅 10時 ~

河合町役場・公民館(遺物展示館)~緑道~集いの丘~花の道(チューリップ)~乙女山古墳~

カリヨンの丘(昼食)~公園館~ナガレ山古墳~巣山古墳~牧野古墳

出席者:義田・久賀田・嶋田・玉尾(洋)・玉尾(ひ)・服部・上森・廣瀬・竹山・山岡・田中(和)・北川・武田・樋野・

福島・中谷・神田・堀野・森・橋本・堀内(け) (21名)

10:00 近鉄・池部駅

10:05 河合町役場

大和鉄道(現、近鉄田原本線)の敷設を行った、森本千吉の邸宅跡。

主屋と和洋折衷の離れ、棟門とライオンの浮彫などが残っている。

公民館(遺物展示館)

・昔懐かしい脱穀機などの農機具の展示、幼いころに見覚えがあり話が弾んだ。

◎廣瀬さんから、この地区の古墳や人物系図の説明を受ける。

・古代、河合町は、大和広瀬郡に属し

この地は、敏達天皇→押坂彦人大兄皇子→舒明天皇へと

後に、天武天皇→高市皇子→長屋王へと伝頌されたと伝わる。

・敏達天皇は、蘇我氏の血統でない天皇で、隣接する葛城郡を拠点とする蘇我氏を牽制する重要な地域であった。

・また延喜式の記載などから、押坂彦人大兄皇子の成相墓である牧野古墳や、高市皇子の三立岡墓も、この地に存在している。

・薬井瀧ノ北遺跡から、奈良時代の瓦窯の灰原が見つかり、長屋王邸の瓦の文様から、この地で焼かれたと思われる。

・さらに長樂には、大和王権の財政機関である長倉が置かれていた。(経済的にも重要な地域)

この地の下調べののち、馬見丘陵公園へ

丘陵公園緑道…コバノミツバツツジ・イペ(ブラジルの国花)

花の道(チューリップの丘)

11:40 乙女山古墳…5C 前半 全長130m 帆立貝式の前方後円墳

周濠と外堤が残っている。造り出し部より、家形埴輪・楕円筒形埴輪が出土

(後年、地元の箸尾氏と筒井氏の戦いの時亡くなった箸尾氏の姫を埋葬したと伝わる。)

12:05 カリヨンの丘(昼食)

北本市 2号墳…古墳時代後期 7C 前半頃の方墳 組合式家形石棺(二上山の凝灰岩)

成人男性と幼児の人骨が遺存

13:05 公園館

馬見丘陵には、4C~5C頃に築造されたとされる大型古墳群がある。出土品の展示。

古墳の造り方…当時と現代での違いが映像化されており、当時の技術や築造に関わった人々の様子。

13:20 ナガレ山古墳…5C前半 全長105m 前方後円墳 粘土櫛 木棺 自然の地形を利用して造られた

円筒埴輪(1800本)列や葺石(二上山麓の安山岩・花崗岩)が多数発掘された。

全国に二例しかない縦列形埴輪列がある。

発掘調査の後、東側には市民参加で製作の円筒埴輪を並べ、築造当初の姿に

又、西側には芝生を敷き、1600年後の姿に復元している。

14:00 巣山古墳…4C後半 全長220m 前方後円墳 後円部に二基の竪穴式石室

(津堂城山古墳と同時期で水鳥形埴輪を配する等、よく似た形状)

出島状遺構から水鳥形埴輪・盾形・家形埴輪など多数発掘

喪舟(もふね)…周濠の隅より、クスノキとスギで造られ赤色顔料が塗られた喪舟の部材が出土

14:40 牧野古墳…古墳時代後期6C末頃

径55m 高さ13m 円墳 三段築成 横穴式石室 剥抜式家形石棺と組合式の家形石棺

敏達天皇の皇子で、舒明天皇の父である押坂彦人大兄皇子の成相墓の可能性がある。

埋葬品は、金銅装馬具・銀装太刀・須恵器・桃核など多数

15:00 解散

葛城台からバスで、近鉄五位堂駅または、JR 王寺駅へ

所感等

今日は、丘一面のチューリップとハナミズキ・木々の新緑、そして古墳たっぷりの行程でした。

馬見古墳群は、4~5C頃にかけて築造された、250基を超える大古墳群です。

遠くから見ると小山にしか見えない古墳ですが、

埋葬者の生きた時代背景など、興味深い話を聞きながらの古墳巡りは、とても面白かったです。

廣瀬さま、楽しい会になりました。ありがとうございました。

解散後、最寄り駅までバスで行くことができ、とても助かりました。

バス停まで案内して下さった堀野さま、ありがとうございました。

(特記事項)

